

平成4年
10月26日

第72号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL (0297)45-1111 (内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議會大武

もくじ

- ①ページ 議決内容
②ページ }
③ページ } 一般質問
④ページ } 議員研修ほか



心身障害者福祉センター
建築工事など可決

平成四年第三回定例会が、去る九月三日から一四日まで、一二日間の会期で開かれました。

今回の定例会には、平成三年度の各企業会計の決算をはじめとする町長提出議案一六件と議員提出議案三件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

議決内容

●教育委員の任命同意
○森山次男氏（54歳 再）

●3年度企業会計決算認定
○水道事業会計決算

事業の主なもの、配水管布設工事で、一億八八〇万八二〇六円。事業収益は、料金収入が九億九四二万九一九四円で、前年度より約二億六八四〇万円の増収となった。その他の収入は、他会計補助金、受取利息、分担金収入など。

資本的收入は、六二八七
万五二九二円で、内訳は、
アサヒビール(株)による工
事負担金、他会計負担金な
ど。

当年度末利益剰余金は三億九一四二万九三〇一円で、うち二〇〇〇万円を減債積立金に、残りを建設改良積立金とした。

○工業団地土地区画整理事業会計決算

本年度末で九一・一パーセントに達した。その他の工事は、都市計画道路及び区画道路工事費として三億四九三〇万一千四百六円、公園及びシンボルゲート工事費等で二億八九五万一千五百円など。また工事施工監理をはじめ、実施設計及び測量等の業務を委託した。

収入は、用地会計からの予納金一三億八〇六〇万円、国庫支出金四〇〇〇万円、

他會計支出金四〇〇〇万円、
受取利息八九二万一〇八九
円。

○工業用地の取得及び処分
事業会計決算

三年度の用地取得は、一〇七一平方メートル、一三七九万二八〇六円。また、周辺地区に対し、地区センター建設補助を実施した。収入は、立地決定企業等からの予納金五億九〇〇万円、予納金運用利息収入三億七七七一万七六八円。

● 条例改正
○ 手数料条例

認可地縁団体の印鑑証明
手数料（一件二〇〇円）の
新設、及び戸籍の附票、住
民票の閲覧の削除。
○ホームヘルプサービス事
業実施条例
ホームヘルプサービス事
業費用負担基準の改正。

ホームヘルプサービス
業費用負担基準の改正。

●補正予算
○一般会計補正予算（第3号）

主な内容は、常磐新線建設用地及び代替地の取得に関する債務負担行為の増額補正と、在宅介護支援センター運営事業委託料、ふれあい道路補修費、道路新設改良費及び補償費、常磐新線対策事業にかかる用地の代替地購入費、火葬場周辺整備負担金等の増額。

補正予算額＝三億五〇五万
三〇〇〇円
補正後の予算額＝一一億
一四七万三〇〇〇円
○下水道事業会計補正予算

緊急地方道新設改良工事に伴う汚水管整備工事費の増額、及び国庫補助金の確定による下水道情報管理システム作成委託料の減額、データーログ設備設置時期の変更に伴う工事費の減額など。

補正予算額＝七〇三一万円

補正後の予算額＝一五億七
七九三万六〇〇円

○国民健康保険会計補正予
算

1

助産費、老人保健医療費、
拠出金等の増額が主なもの。
補正予算額＝五五〇〇万四
〇〇〇円
補正後の予算額＝一四億五
七八万八〇〇〇円
○老人保健会計補正予算
三年度精算による支払基
金交付金、国庫支出金、県
支出金、繰越金等の増額と

一般会計への繰出金の増額
補正予算額＝四二四六万二
〇〇〇円
補正後の予算額＝二億二
六九一万五〇〇〇円
○水道事業会計補正予算
四月に行われた人事異動
に伴う人件費の補正で、四
七二万六〇〇〇円の増額。

●財産の購入

ピューター二三台、付属品
机、椅子を購入するもの。
契約金額一五四五万円

●財産の取得
○（仮称）南守谷小学校の校舎、屋内運動場、プールを取得するもの。
買収金額＝一八億三四二一

請願・陳情

請願・陳情

皆さんから出された請願・陳情の審査結果をお知らせします。

◆ 採択

◇「環境宣言」の決議に関する請願

◇学校事務職員と栄養職員の「義務教育費国庫負担法」適用堅持を求める請願

◆不採扱

◆水道料金の値下げを求め

◆ 継続審査

◇思川開発事業（南摩ダム建設計画）に伴う大谷川取水反対に対する理解と協力を求める陳情



一般質問

(要旨)

本定例会における一般質問は、一〇日、一一日の二日間
にわたって行われました。
質問には七名が登壇し、常磐新線や、水道事業、福祉
行政についてなど、二八項目にわたって行政の姿勢をた
だしました。

広域にふさわしい体育館の建設を

小川 一成議員

小川議員 常総広域組合の
総合体育館が、平成五年度
～六年度の二カ年事業で建
設することになったが、現
在計画されている体育館の
規模は、バスケットボール
で一面、バレーコートでは
二面という、中学校の体育
館にも満たないものである。
しかし、過日の起債申請に
あたって、二億一四〇〇
万円の建設規模で申請した
とのことであり、この予算
ならばバスケットボールコ
ートで二面、ハンドボールコ
ートでも一面とれる規模の
ものが建設可能と思われる。
是非広域にふさわしい規模
の体育館が実現できるよう
計画の再検討をお願いした
い。

助役 現在、計画の見直し
を広域事務局に要望してい
るところであり、今後もし
の実現に努力したい。

自然保護

小川議員 昨年一二月に
「緑化基金条例」が制定さ
れたが、これに基づきどの
ような取り組みをしてきた
か伺いたい。

都市整備部長 平成四年度
末では一億四〇〇万円の基
金に対して約五〇〇万円程
度の利息が見込まれ、この

げが可能なものか伺いたい。
水道事務所長 人口の急増
により、現在保有している
水源および浄水施設では
平成七年度あたりに不足が
生じると予想される。しか
し、県の水道用水供給拡張
事業は平成一二年以降で
あり、その間地下水での対
応が必要となり、これらの
施設拡張のため平成六年度
あたりから徐々に支出が増
え、八年度の単年度収支で
は赤字に転換する可能性も
ある。また、県の拡張事業に
よる給水単価の大幅な値上
げ、さらに起債未償還額の
返済等を踏まえると、水道料
金の値下げは非常に難しい。

町民に対し水道事業の積極的なPRを

西巻 健治議員

西巻議員 当町の水道事業
は、現在保有している水源
では平成七年度頃に不足が
生じると予想されているが、
県南用水の第四次拡張事業
は平成一二年以降であり、
その間の不足分を、新たに
五本の深井戸を掘って対応
するとのことである。そこ
で、第三次拡張事業による
当町の契約水量（一日一万
四〇〇〇トン）が全量供給
されるのは平成一〇年との
ことなので、早期に契約水
量分を供給していただくよ
う努力し、新たな深井戸の
掘削をできるかぎり遅らせ
ていただきたい。

水道事務所長 深井戸の掘
削を少しでも遅らせること
が重要であり、県に対して
契約水量の供給を強く要望
していきたい。
西巻議員 下水道処理水の
再利用や節水対策を真剣に
考えていく必要があると思
うがどうか。
水道事務所長 下水道処理
水の再利用もさることなが

西巻議員 今後も拡張事業
等に伴い多額の費用を要す
ることであるが、水道
事務所として、民間の経済
レベルに合わせた経営スケ
ジュールをたて、少しでも
住民負担の軽減を図ってい
ていただきたい。

地名標示

福祉事業

西巻議員 ふれあい道路と
県道との交差点で、信号機
に地名標示が付いていない
ところがあるので、早急に
標示していただきたい。
都市整備部長 県と協議し
できるだけ早く標示でき
るよう取り組みたい。

駐輪場の設置

西巻議員 三月の議会で、
南守谷駅前自転車駐輪場
を設置するよう要望したと
ころ、鋭意努力するとのこ
とであったが、その後の経
過を伺いたい。



駐輪場代わりに利用されている南守谷駅前

きに検討していきたい。な
お、本年度から来年度にか
けて、老人保健福祉計画を
策定することになっており、
その内容によっては、高齢
者の方にも補助できるよう
な制度が実現できるのでは
ないかと思う。

老人福祉計画について問う

松本 明子議員

松本議員 今議会中に配ら
れた地域福祉推進計画の中
に、老人福祉計画を平成四
年度に策定するところだが、
策定までのスケジュールを
伺いたい。

民生経済部長 この計画は、
来たるべき高齢化社会への
本格的対応策の一つであり、
高齢者の実態を把握し保健
医療機関や福祉関係者の意
見を取り入れ策定するもの
となっている。平成四年度
の事業としては、六五歳以
上の方全員を対象としたア
ンケート調査、集計、県と
の連絡調整等で、平成五年
度に計画策定委員会を設置
し、平成五年一〇月を目標
に計画決定をしたいと考え
ている。

同和事業について

松本議員 守谷町には現在
三つの同和団体があり、そ
れぞれ町からの補助金を受
けているわけである。部落
解放同盟については、五月
三十一日に開催された県連大
会で組織変えが行われたわ
けであり、五月一八日に支
払った前期分の補助金につ
いて、四月、五月分は問題
はないが、それ以降の補助
金については組織の内容が
全く違うわけであるので、
返還していただくべきでは
ないか。
助役 全員が新しい組織に
移行したとは限らないため、
今後十分に検討をし、返還
事由がある場合には返還し
ていただく考えである。

空き地対策

松本議員 町で誘致した企
業の空地にゴルフ練習場を
建設する計画があるとのこ
とだが、その内容について
伺いたい。

都市整備部長 御前川製作
所からゴルフ練習場を建設
したい旨の話があったわけ
であり、会社側の考え方と

しては、同種の企業が多くなり需要と供給のバランスが成り立たなくなってきたため工場拡張等の計画が無く、ゴルフ練習場に空いた敷地をあてたいとのことである。

松本議員 工場を拡張する予定がないということならば、町で買い取り常磐新線関係の代替地として利用してはどうかという意見があるが、どう考えているか。

助役 御前川製作所だけではなく、当時誘致した三社に対し要請しているが、なかなか進展しない状況である。

学校五日制

松本議員 学校五日制について行ったアンケート調査の結果の中で、土曜日に家に大人がいますかという質問に対して一、二年生の中で三名の児童がいないと答えているわけであるが、これに対応するために早急に児童館の設置、あるいは児童保育の実施など環境の整備を行っていただきたい。

教育長 その後二回ほど再調査をした結果、学校で世話になりたいという家庭がなくなったわけであるが、有意義かつ効果的に学校五日制を推進するため、地域ごとに適切な方法を考えて進めていきたいと考えている。

土地利用計画

松本議員 庁舎を中心とした周辺の土地利用に関して住宅・都市整備公団に調査を依頼したとのことであるが、その内容について伺いたい。

総務部長 当初一三ヘクタールの面積で調査し、新庁舎周辺土地利用構想が平

成三年三月に出来上がったわけであるが、その内容について検討した結果、現在当町は常磐新線とそれに伴う駅周辺整備を最重要課題に位置付け取り組んでおり、財政的な面や職員数等の人的な面を考慮すると町が事業主体となって整備することは難しいとの結論に至ったわけである。そこで住宅・都市整備公団に対して守谷駅周辺整備地区を除いた守谷駅西側を含む庁舎周辺二〇〇ヘクタールについて当町の希望を取り入れた整備が可能かどうかの検討を行うよう申し入れたわけである。尚、調査結果については、九月中に出ると思われる。

常磐新線

松本議員 常磐新線関係について次の点で伺いたい。

①駅周辺区画整理事業地内の鉄道用地とそれ以外の鉄道用地の面積を伺いたい。

②鉄道用地の買収方法について伺いたい。

③税の控除額について伺いたい。

④駅前開発を区画整理事業で行う目的と面積四〇ヘクタールの根拠を伺いたい。

常磐新線推進部長 ①区画整理予定地内について予定面積四〇ヘクタールの内約三・三ヘクタールが減少され、それが鉄道用地になる。それ以外は正式なルートが決定していないため面積が出ていない。

②区画整理区域内については、バラ買いをし後で鉄道用地にもっていくという集約換地を行い、区域外についてはルート上にかかる面積全てを買収予定である。

③区画整理区域外は通常の道路買収と同様に一件につき五、〇〇〇万円の控除

が受けられる。区域内については公法により一年間に一、五〇〇万円の控除が受けられ、区域内が事業認可された後事業主に売却の場合には二、〇〇〇万円の控除が受けられる。

④新駅ができた場合を想定し、新駅までのアクセス道路の整備、駅前広場の整備を行うには、都市的熱度が低い既成市街地では対応できないため区画整理により整備することになったわけであり、区域の設定については、事業の成立性、造成計画、道路のアクセシビリティ、駅前広場の確保等を考慮し、四〇ヘクタールに設定したわけである。

水道事業

松本議員 八月一日に行われた水道事業運営協議会

「緑の銀行」の設置を図れ

吉田 実議員

吉田議員 当町に残された貴重な緑である街路樹や生け垣が道路の拡張や家屋の新築等により伐採処分されている現状に対処するため、それらを町で一旦引き取り、希望者があれば供給するという「緑の銀行」のようなシステムを確立し緑の保全を考えていただきたい。

都市整備部長 樹木の大きさに限定があると考えると、今後の課題として検討していきたい。

派出所の設置

吉田議員 現在当町には、警察の施設として警察官幹部派出所と大井沢、大野地区にそれぞれ駐在所があるが、人口の急増に伴いみづき野地区、あるいは南北両

において、守谷町水道事業水需要及び拡張事業計画について諮問がなされ、八月二十四日に答申されたわけであるが、一八日の会議の席上、水道事務所側から審議するにあたり平成二十二年までの事業計画とそれにかかる費用についての資料が提出されたわけであるが、事務所側からはどのような説明がされたのか伺いたい。

水道事務所長 今後の財政計画の中の支出面で大きなウェイトを占めるものは設備投資等の事業費であり、アサヒビール(株)への暫定給水が終了した後の収入源としての一般給水の伸びに比べ支出の伸びが大きくなる。現在のような余剰金は発生しないであろうという説明をしたわけである。

中田議員 小貝川に掛かる常総橋は、最近の交通量の増加や車両の大型化により、非常に狭く感じられるようになってしまった。特にこの橋は、守谷町から伊奈高校へ、伊奈町から守谷高校へと、自転車や通学する生徒が多数利用しているの、その安全確保のためにも、早期に自転車歩行者専用橋が設置されるよう努力していただきたい。

都市整備部長 県としては、現在のところ専用橋を設置する計画はないとのことであるが、以前から慎重に対応するよう要望して

電話の増設をNTTに要望していただきたい。

総務部長 現在高野地先から松前台までの八キロの間に設置してある公衆電話について、設置場所にはバラツキがあるため、設置替えの

常総橋の改良工事の実施を

中田孝太郎議員

あるが、町としては早期設置に向けて強く働きかけていきたい。

青少年研修センター

中田議員 今定例会の一般会計補正予算に、取手市、藤代町、守谷町による火葬場周辺整備事業の一環として、(仮称)青少年研修センター建設負担金五六七万円が計上された。この建設に対する各市町の負担割合等については、以前から慎重に対応するよう要望して



自転車歩行者専用橋の設置が望まれる常総橋

いたにもかかわらず、今回議会に何の説明もないままに計上されたことは議会軽視であり、反省していただきたい。また、この計画に対する今後の町の取り組み方を伺いたい。

助役 (仮称) 青少年研修センターの建設にあたっては、今後、三市町の首長、正副議長、担当常任委員長、教育長等が構成する協議会を設置したいと考えており、協議の都度、議会側と事前協議を行い対応していきたい。

ダイオキシンの測定

中田議員 六月の議会において、常総環境センターの焼却炉について早急にダイ

水道事業について問う

中村 信行議員

中村(信)議員 当町の水道事業は、今後も将来の人口増加に備えて、さまざまな建設費を必要としているが、将来のための資本投下を含めて水道料金収入で賄うとすれば、当然利用者は負担を重く感じると思う。将来の投資計画に対しては、行政が応分の負担をすべきと考えるがどうか。

助役 公営企業であり、独立採算が原則であるが、行政としても負担すべきものは負担して、受益者の負担が軽く済むような方向で努力している。

中村(信)議員 水道会計が黒字に転じたことから利用者へのサービスの還元が望まれている。先日の教育厚生委員会でも約束されたメーター使用料の無料化の時期と、その他のサービスについて伺いたい。

オキシンの測定を行い、周辺住民の不安感を無くすよう要望したところ、町では広域組合管理者に対し、早急に測定を実施するよう強く申し入れしたいとのことであったが、その後の経過を伺いたい。

民生経済部統括課長 来年度に一酸化炭素及び酸素濃度自動連続分析計を設置することになっており、さらに本年度に実施される一酸化炭素の測定結果によって、その低減設備を同時に設置して、ダイオキシン類の発生抑制対策を完全なものとしたい。その後、排気ガス、集塵器内の収集灰及び焼却灰についてダイオキシン類の濃度測定を実施し、結果を公表したい。

中村(信)議員 先般、水道事業運営協議会が開かれ、水道料金については、現行料金の維持に努め、可能な限りサービスの向上に努める旨の答申が出された。しかし、この会議に議論するに十分な資料が出されたのかどうかは疑問であり、町側の一方的な説明で結論を出したとすれば、第三者的な協議会本来の役割が発揮できないと思うがどうか。

水道事務所長 将来にわたる水需要計画、水源不足に対応する施設整備計画と、それにかかる費用等の資料を提出しており、その内容について十分議論されての

答申と理解している。

中村(信)議員 水道事業運営協議会の委員には非常に在任期間の長い人や、既存地域からの選出が多く、女性は一人もいない。また、協議会に客観性と自主性を持たせる意味で、企業や各種団体等の代表者からも、さまざまな意見を網羅できるように、委員構成の再検討をすべきではないか。

水道事務所長 在任期間の長い委員による経験をもとにした総合的視野にたった意見と、新しい委員の斬新的な意見との議論の積み重ねにより協議会は成り立っていると思う。

助役 今後の選考にあたっては、ご指摘の課題を踏まえて選考していきたい。

側溝の設置

中村(信)議員 守谷小学校正門前の道路は非常に狭く、しかも側溝がないため大変危険である。早急に側溝の設置を検討していただきたい。

都市整備部長 側溝を設置するには雨水の流末の整備が必要であるが、その流末となる守谷東土地画整理事業の整備が完了していないので、もう少し猶予をいただきたい。

福祉事業

中村(信)議員 先日、お年寄りの方が腰を悪くして、町に医療貸出ベッドを申請したところ、全て貸出中で、しかも何人かが空きを待っている状況とのことであった。そこで、常に何台かはストックされているような余裕をもった対応をお願いしたい。

民生経済部長 現在、社会福祉課と社会福祉協議会と

を合わせて一四台のベッドを保有している。これまでには常に二台程度ストックされてきたが、急に利用者が増えたため不足してしまっただ。そこで近日中に新たに二台購入することになっており、さらに来年度においても、状況をみながら常に四〜五台はストックしておく方向で進めていきたい。

信号機の設置

中村(信)議員 北守谷のショッピングセンター「ユニー」からふれあい道路に出る交差点の信号機設置について、その後の経過を伺いたい。

総務部統括課長 ユニーに對し信号機を設置していただくよう要望し、さらに警察にも要望している。しかし、ふれあい道路と北守谷板戸井線との大きな交差点が近接しているため、設置にはしばらく時間がかかると思われる。

公民館の設置

中村(信)議員 北守谷地区は、当町における最大の人口集中地域であり、地区公民館の建設が急務であると思うがどうか。

学校教育課長 南守谷地区には集会所が一つも無いため、まず南守谷地区に整備し、次に北守谷地区に整備したい。

火葬場周辺整備

中村(信)議員 火葬場周辺地域の整備については、当初いろいろと計画されていたが、残念ながらその計画が実現に向かっていないようである。今後、当初の計画の実現に向けて検討していく考えはあるか。

助役 同地区の周辺整備については、地域の皆さんから希望がなく、整備をとりやめざるを得なかったという経過がある。今後、希望があれば、一市二町による協議会を設置し整備していきたい。

学校給食

中村(信)議員 学校給食にはセンター方式と自校方式の二つの方式があるが、センター方式はきめ細かな対応が難しいという指摘がある。当町ではセンター方式をとっているが、アレール

深井戸掘削による影響は

豊島議員 アサヒビル側が工場敷地内に深井戸を掘削したとのことであるが、その規模を伺いたい。

都市整備部統括課長 三本の深井戸を掘削しており、その規模は、深さ三〇メートル、口径が一〇〇ミリである。

豊島議員 通常深井戸の掘削を申請した場合なかなか許可にならないとのことであるが、どのような理由で許可になったのか。また、深井戸からの取水することによる地盤沈下の心配はないのか。

都市整備部統括課長 この深井戸を掘るに当たっては、守谷町の地下水需要計画に基づき地下水を汲み上げた場合の影響について、シミュレーション手法(現実で具体的な数値をコンピュータに与え、検討し現実に近い結果を予想するもの)を用いて検討を行っており、最大の揚水量が見込まれる平成八年度を基に検討した結果、問題はないとの判断で許可

ギー体質の児童生徒への対応や、化学調味料の使用の抑制、あるいは食器洗浄用の洗剤を合成洗剤からより安全な石鹸洗剤へ切り換えることなどについて、どのようにおこなわれているか。

住民サービス

豊島議員 仲町行政サービスセンター、あるいは文化会館で行っている諸証明発行等の簡易事務の取扱について、みずき野地区に新設された郷土公民館においても取扱の実施をお願いしたい。

清議員

総務部統括課長 現時点では、今の体制を基本に進めていきたいと考えており、みずき野地区においては仲町行政サービスセンターを利用していただきたい。

豊島議員 年金受給者の現況届に関する証明の簡素化を図り、住民が来庁しなくてもできるような配慮をしていただきたい。

民生経済部長 年に一回のことであり、代理人においてもできるので、引き続きこの方法でお願いしたい。

先進地視察

ごみの分別収集とリサイクル

静岡県沼津市

守谷町議会では、去る九月一六日、静岡県沼津市を訪問し、ごみの分別収集とリサイクルについて研修してきました。

守谷町では、現在広域事業によりごみの処理を行っ

ていますが、今回視察した沼津市は、単独事業でごみの処理を行っており、沼津方式と呼ばれる独自の処理の形態を築いた先進地でありました。



沼津方式とは、徹底した分別収集とリサイクルを行うもので、この方式が出来上がるまでは、住民と行政側との徹底的な話し合いがもたれました。その話し合いは、住民と実際にごみを収集する職員との間で行われ、住民の当番制による収集所の管理、収集所の非固定化とメイン通りへの設置等、独自の方式を築き上げました。

臨時会

平成四年第三回臨時会が去る七月二日に開かれ、議決内容は次のとおりです。

専決処分事項の承認

○一般会計補正予算 大同火工爆発事故による災害救助経費など。

補正予算額 六四七六万九〇〇〇円

条例改正

○国民健康保険税条例 保険税付加限度額を「四二万円」から「四四万円」

に、低所得者に対する軽減基準額を「二二万円」から「二二万五〇〇〇円」に引き上げた。

補正予算

○一般会計補正予算(第2号) 心身障害者福祉センターの面積と外構工事の見直しに伴う工事費の増額、進捗率の設計変更に伴う公有財産購入費の減額が主なもの。

補正予算額 一六二二万五〇〇〇円

工事請負契約

○4緊急地方道路整備第1号工事 立沢野口地先町道二七五



秋が深まると、ブドウ酒の新酒が話題になります。国産は十一月に入ると店頭に出、ヨーロッパからの輸入物は、日本では十一月の第三木曜日に発売されます。

ブドウ酒

ブドウ酒は、ブドウを搾って出る果汁を発酵させて造る果実酒です。最近ではワインという英語で呼ぶほうがポピュラーです。ワインという、すぐブドウを連想しますが、実は、ナシワインやキウイワインなど、いろいろあります。

以前は、日本では、加糖した甘いスイートワイン(昔はポートワインと言っていました)が主流でしたが、最近は生ブドウ酒、いわゆるテールワインが一般的になってきました。ブドウ酒が現在の生活に入ってきたのは、日本人の食卓が豊かになったこと



契約金額 一億一四三三万円
工期 平成五年二月二六日まで

議事を傍聴し
あなたの目で町政を
確かめましょう!!

定例会は 3・6・9・12月